

令和2年度 第1回武川地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和2年8月3日(月)
午後7時00分 開会 ～ 午後8時35分 閉会
- 2 開催場所 北杜市武川総合支所2階 大会議室
- 3 出席委員 柏木秀昭・栗澤雅子・刃刀孝次郎・輿石長時・溝口 洋・刃刀孝夫・
小澤弘子・林 義夫・日向 勝・長坂 正・刃刀美津子・小澤建二・
溝口暁美・溝口直樹 14名
- 4 欠席委員 鈴木洋明・星 亜季菜 2名
- 5 出席職員 武川総合支所長 清水能行
地域振興課長 小林 晋
地域市民課 市民担当 佐野 敦・田中真美
- 6 議 題 (1)令和元年度武川地域委員会予算使途提案事業実績報告について
(2)令和2年度武川地域委員会予算使途提案事業について
(3)その他
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人数 1人
- 9 署 名

署名委員 長坂 正

署名委員 刃刀美津子

1 開 会 (副会長)

2 会長あいさつ

3 支所長あいさつ

4 自己紹介

5 地域委員会概要説明

地域委員会について、資料に基づき設置目的、任期、活動内容、設置根拠法令等を説明。

6 会議録署名委員の指名について

「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」第9条第3項第3号の規定に基づき、出席委員の内2名の署名を得る必要があるため、会長が長坂正委員、刃刀美津子委員を指名。

7 議 事 (北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定に基づき、会長が議長となる。)

(議 長) 第1号議案「令和元年度武川地域委員会予算使途提案事業実績報告について」事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づき事業内容、決算額等を説明。

(議 長) 意見・質問等はあるか。

(意見・質問がないので、第1号議案の審議は終了。)

(議 長) 第2号議案「令和2年度武川地域委員会予算使途提案事業について」事務局より説明を求める。

(事務局) 令和2年度の予算については前年度予算と比べ19千円の減額となっている。これは令和2年度の当初予算編成をする際、人口減少等により歳出の見直しを行ったためである。

資料に基づき、事業内容、予算額等を説明。

(議 長) 意見・質問等はあるか。

(委 員) 地域活性化事業の北杜市甲斐駒エリアふるさと祭りの予算のうち、花火がかなりの割合を占めると考えられる。ただ中止にするのではなく、花火だけ打ち上げて、見るのはそれぞれ違う場所からといった対策はとれるか。

(事務局) 市としては、事業目的以外に使用することはできない。

(議 長) 今年は、コロナ禍の影響で行事が軒並み中止になっていてさみしいが、市としては難しいのではないか。

- (委員) すべて返金しなければいけないのか。蓄えに廻すのも無理か。
- (事務局) 予算計画以外に流用することはできない。
- (委員) 地域づくり推進事業で各行政区に支払っている自治会活動支援経費も、各行政区ごとで余ったらどうするのか。
- (事務局) すでに概算で支払っているので、事業がすべて終わったら精算して、使わなかった分は返戻していただく。
- (委員) 流用は出来なくとも各行政区内の活動で使うことはできるのか
- (事務局) 予算計画で目的割合で割り付けてある。割合の中での変更はできます。
- (委員) コロナ禍で様々な行事が軒並み中止になっていて楽しみがない。通常ではない状態なのだから柔軟な考えが必要。
- (事務局) 代替え案で何か行事をしたとしても、結局人が集まって密の状態になってしまったら危険。回避していく。
- (議長) 年度が替わってすぐに事務局側に流用できないかと問い合わせたところ、決められた用途以外には使えないとの回答をもらった。ただし、使わなかった資金は別の形で使われ、広く市民のためになる。
- (委員) 地域委員会予算として使う場合は使い道が分かる。使わずに返して別の使い道になったら何に使ったのか見えない。
- (事務局) 下半期でアイデアを出してもらって来年度に生かせれば。
- (議長) 今後目的をいくつか作っておくのはどうか。
- (委員) 行事が軒並み中止になると、2月発行の地域だよりの内容もどうするか。例年12月には内容を考えていたと思うが。
- (議長) 編集委員会を早めに立ち上げて対応する。
- (委員) 地域づくり推進事業以外の事業ではどうか。
- (事務局) 未実施のところも実施しているところもある。補助金として概算払っていて団体の判断に任せているところもある。補助金は使わなかった分は返戻していただく。
- (議長) 地域づくり推進事業はどのように使うのか
- (事務局) 各区には概算払として支払い済み。夏祭りや食事サービスなどは実施が難しいと思われる。
- (委員) 区の判断になるのか。
- (委員) 上三吹区では、消防など実施できる項目はあるが、夏祭りなどは実施困難であると考えている。最終的に9月ごろ決定する予定である。
- (委員) 安心・安全面が一番使うのでは。
- (議長) 使うべきところは適正に使ってもらいたい。
- (委員) ふるさとふれあい事業について、社会福祉協議会でも同じような配食サービスがあるが、今年度は調理を実施せず外注のお弁当を配布することとなった。無理をしないで安全な実施をお願いしたい。
- (委員) 調理は無理だと考えられる。別の形で実施を考えている。

- (議 長) ふるさとふれあい事業については、高齢者の見守りも兼ねている。工夫して実施をお願いしたい。
- (議 長) その他意見・質問等はあるか。
(意見・質問がないので、第2号議案の審議は終了。)
- (議 長) 第3号議案その他について事務局より説明を求める。
- (事務局) ①報酬について、年間4万円支払われる。ただし年度中途の場合は日割りとなる。支払い口座依頼書を全員提出していただきたい。昨年と同じ口座の委員についても提出をお願いしたい。
新規の委員のみマイナンバーの提供書の提出をお願いする。
②事業等の役割分担について、別添名簿のとおり、「見上げて星見里事業」「ふるさと祭り事業」「地域委員会だより編集委員」の3つの委員をお願いしている。宛て職で後任の委員は、前任に引き続きお願いしたい。
全員異議なし。
③研修について、地域活性化推進事業の一環として、例年地域委員会で先進地の研修に行っていた。昨年度は伊那市の防災施設を見学した。時期的には年明けになると思われるが、現時点ではまったく見通しが立っていない。
- (議 長) 昨年度見学した、伊那市の防災施設がこの7月豪雨でどのように役立ったか確認してもらいたい。
- (事務局) 確認します。
- (議 長) 防災に備えた研修を、現地に行くのではなく講師を呼んでコロナ禍での防災の講習会を受けるなど、今後アイデアを出していただきたい。
- (議 長) その他にあるか。
(意見・質問がないので、第3号議案の審議は終了。)
- (議 長) 議事を終了します。ご協力ありがとうございました。

8 その他 ・地域公共交通について。

- (会 長) 地域公共交通は、3年間かけて計画的に見直していく。今年度はどこが問題なのか洗い出しの年になる。
市の新型コロナ対策の一環として8月～10月までは無料でバスに乗れるのでぜひ委員の皆さんはバスに乗ってもらい、便利なところ不便なところを言ってもらいたい。地域公共交通は、将来運転が出来なくなったときに充実しているよう、今から考えていかなければならない。
- (委 員) 議題の中の研修も、地域委員全員で市営バスに乗ってみるなどの研修もいいのでは。
- (事務局) 市営バスの無料期間は8月1日から10月31日までであるが、デマンドバスは事前に登録が必要であるのでご注意ください。

・市の会議のデジタル化について

(委員) コロナ禍の中で、デジタル化は進んでいるので、地域委員会の資料や通知などもタブレット端末の利用や、ライン連絡などが出来ないか。

(会長) 市のほうで検討をお願いします。

10 閉会のことば (副会長)

午後8時35分終了

令和 年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印